

時代「幕末」

1863年、高杉晋作が「奇兵隊」をつくりました。これは家臣団による「正兵」に対しての「奇兵」の意味でした。その後、諸隊がぞくぞくとつくられました。小郡の諸隊や農兵隊には以下のようなものがあったそうです。

集義隊 諸隊 桜井慎平が班に対して結成を上申した隊

郷勇隊 小郡地区内の有志による隊

狙撃隊 地毛獵師による隊

東津隊 秋本真蔵発起 東津村に屯した隊

小野隊 二島庄屋小野恒太郎が発起した隊

社僧兵 寺社家により編成された隊

佐分利隊 医師佐分利顕民発起した隊 新開作河口の警備

井関川の川岸には阿知須浦の遺構である常夜灯が残されています。かつての港であった縄田(なわだ)地区には、江戸時代から大正にかけて建てられた「居蔵造り」と呼ばれる、土蔵造りの商家がいくつか残っていて、往時をしのばせていました。



・奇兵隊を結成した「高杉晋作」